

ロケ撮影における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト ver. 1.1

[すみだフィルムコミッション 2022]

申請者

所属会社名及び所在地：

代表者役職名及び氏名：

撮影現場責任者氏名及び連絡先：

(作品名) _____ の墨田区内でのロケ撮影に関し、以下の新型コロナウイルス感染予防対策について、責任をもって行います。なお、原則として以下の全ての内容について確認が取れない場合、すみだフィルムコミッション（以下「すみだFC」という。）から撮影支援が受けられないことを承諾します。

1 事前対策

- ・ ジャパン・フィルムコミッション「ロケ撮影支援における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（最終改定日：令和3年10月22日）」の内容を確認した。
- ・ 感染対策のため、消毒等を行う専属の衛生管理者(係)を撮影現場に配置する。
- ・ 撮影期間中、撮影関係者に、発熱・咳・下痢等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触(最終接触から14日間)がある者、同居家族や身近な知人の新型コロナウイルス感染が疑われる者及び過去14日以内に海外から帰国した者は従事させない。
- ・ ロケ撮影に携わる撮影関係者の緊急連絡先及び撮影2週間前までの行動記録を確認・管理している。
- ・ 撮影関係者(エキストラを含む)が撮影期間中に必要なマスク、手袋、消毒液等について用意ができている。
- ・ 撮影地において、撮影関係者に感染が疑われる者が発生した場合の対処法や連絡先等の確認を済ませている。

2 撮影現場における対策

- ・ 撮影現場の責任者は、すみだFCと連絡がとれる体制になっている。
- ・ 撮影現場では、社会的距離（最低1m、できれば2m）を、可能な限り確保し、換気を徹底する。
- ・ 適切なマスクの正しい着用（品質の確かな、できれば不織布を着用。以下同様）や石けんでの手洗い、アルコール等の手指消毒液の設置を徹底する。
- ・ 撮影関係者の毎日の検温結果の確認を徹底する。
- ・ 撮影関係者の撮影中の行動を代表者が確認し、2週間以上管理する。
- ・ ロケ地管理者と協議の上、ロケ現場の消毒を徹底する。
- ・ ワークフローの最適化や撮影手法の工夫を行い、撮影関係者の人数を最小限にする。
- ・ 撮影関係者の人数は、原則、都が定めるイベント開催の規定人数までとし、部外者の立ち入りを制限する。

- ・ロケ撮影の際、通行人や見学者が密にならないよう、配慮を徹底する。
- ・控室を含む施設等の屋内では、定期的に換気を行い、原則適切なマスクを着用する。また、消毒液などを設置する。
- ・ロケ撮影における車両での移動は、1台における乗車人数を最小限にする等、社会的距離を確保するための感染防止対策を講じる。また、車内では、正しいマスクの常時着用、大声や長時間の会話を控えること、換気の徹底を図る。
- ・宿泊を伴う場合は、1人1部屋(シングル部屋)を確保している。
- ・全ての食事は、ケータリング形式ではなく表面の汚染を防ぐ方法を用い、1個ずつパッキングされたものを提供する。
- ・食事を扱う従事者は、食事の都度、事前に手洗いや手指消毒を済ませ、適切なマスクと手袋を正しく着用する。
- ・飲料水は持参するよう周知し、提供する場合は、個別包装のペットボトルなどを利用する。
- ・室内で飲食をとる際は、できるだけお互いの距離を保ち、必要に応じて透明ビニールカーテン等の設置対策を行う。
- ・清掃やごみの廃棄を行う者は、適切なマスクや手袋を着用し、終了後は石けんでの手洗いと消毒を徹底する。
- ・ごみは全て持ち帰る。

3 撮影関係者の感染が疑われた場合の対処

- ・撮影中に撮影関係者に感染が疑われる者が発生した場合は、直ちに隔離を行うとともに、共有した物等を消毒する。
- ・撮影関係者の感染が確認された場合は、直ちに撮影を中断し、感染者が住んでいる自治体の保健所の指導に従う。
- ・感染が疑われる者または感染が確認された者が発生した場合は、必ずすみだ FC へ報告する。
- ・感染が確認された者及び感染が疑われる者に対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底し、対応前後には手洗い、手指消毒を行う。

〈問合せ〉

○すみだフィルムコミッション（すみだ FC）

電話：03-6657-5160(墨田区観光協会内) メール：fc@visit-sumida.jp

〈参考〉

○感染症対策啓発ポスター（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 HP）

<https://corona.go.jp/prevention/>